

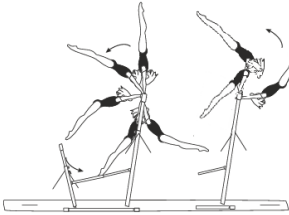
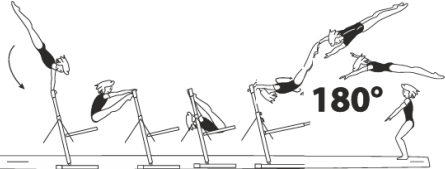
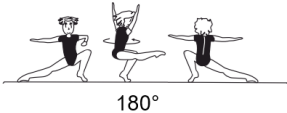
2025年版変更規則 I (会長杯特別ルール)

別紙 3

女子体操競技 段違い平行棒、ゆかについての変更点

段違い平行棒	変更規則 I について以下のように変更する。 ※下線部は変更規則 I から変更した部分 <構成要求> 1. <u>低棒と高棒で少なくとも1つ以上の技を実施（開始技と終末技を除く）</u> 2. <u>空中局面を伴う技（終末技を除く）</u> 3. <u>B 難度以上の棒に近い回転系の技（空中局面を伴わない）</u> 4. <u>倒立を経過する技</u> <削除> ・低棒から高棒へジャンプして移動する -0.5
ゆか	アクロラインが 1 本以下であっても「終末技なし」の減点を適用しない。

女子体操競技 A 難度の要素として数えられる技一覧表

段違い平行棒	逆上がり	
	高棒での振出しから腹支持（ビッグブレイクの減点を適用しない。） 	
	後方足裏支持下り	
平均台	後方足裏支持下り 1/2 ひねり（低棒） 	
平均台	片足上の 180° のターン（浮足は自由）	ダンス系
	台の端に手をつき、倒立を経過して下りる技（側転下り等）	アクロ系
ゆか	しゃがみ立ち 180° ターン 	ダンス系

※表の技では、構成要求（CR）を満たすことはできない。

※D 得点の算出方法については、採点規則通りとする。